

## 区議会文教委員の皆様

### 当会の成立から現在までの経緯と十分な陳情審議のお願い

#### 1 よりよい練馬区の図書館をつくる会について

私たち「よりよい練馬区の図書館をつくる会」は、昨年9月、練馬区が区民に発表した「区立施設委託化、民営化実施計画(案)」のうち、図書館について「平成18年度3つの図書館のカウンター業務をはじめとする業務を委託化し、20年度までに全館を委託化する」という問題を契機にうまれました。

公共性を持つ図書館が安易に委託化されることは、そのあり方があやうくなるのではないかと危惧する人々が集まって話し合い、相談を重ねて立ちあげました。

会の目的は、練馬区の図書館の充実と発展です。

今回お渡しする、「私たちはこういう図書館を望む」に具体的に考えをまとめました。

行政・図書館職員と区民・利用者・ボランティアが相たずさえ、全ての先入観を廃して「健康と活力あふれる文化のまち ふるさとねりま」にふさわしい、よりよい図書館を地道につくり続けようとしています。

#### 2 「練馬区立図書館の委託化に反対し図書館の充実と発展を求める陳情書」を提出

当会は、発足と同時に「私たちは練馬区の図書館の充実、発展を願い、その実現のために陳情いたします。」として、次の5項目の陳情を、練馬区教育委員会委員長及び練馬区議会議長に対して提出しました。

陳情賛同者の署名は、教育委員会委員長宛 10,120 筆、区議会議長宛 10,596 筆(7/11 現在)です。

1. 図書館のカウンター業務をはじめとする業務の委託はやめてください。
2. 資料費を増額し、利用者の期待にこたえられるよう資料を充実してください。
3. 全館に知識と経験豊かな職員を配置してください。
4. 図書館法に基づいて図書館協議会を早急に設置し、練馬区の図書館のあり方を協議してください。
5. 利用者懇談会を開いて、利用者の声を運営に活かしてください。

#### 3 陳情書補足説明書を提出

公開された、区の見解及び教育委員会の陳情審議における齊藤光が丘図書館長の発言に関連して、私たちの陳情を正確にご理解いただき、充分なる審議をお願いして、具体的事実に基づいた陳情理由の補足説明書を教育委員会委員長に提出しました。

区議会文教児童青少年委員会委員の皆様には、お会いいただいてご説明の上、差し上げました。

#### 4 教育委員会が陳情不採択を決定

4月26日教育委員会は、「区立図書館業務委託実施計画(案)」を、具体的な審議をせずに「委託は時代の流れ」として、15分ほどで陳情を一括して不採択と決定、5月13日付文書で次のように回答しました。

「この度の、図書館の委託化反対等の陳情については、平成16年9月27日の教育委員会に提出されて以来、これまで数回にわたり、審査および検討を重ねてまいりました。

このことにより、練馬区教育委員会といたしましては、委託化することで、より区民ニーズに応えることができ、また図書館業務の効率化が図れるものと考えております。

したがって、委託化反対を前提とした今回の陳情については、不採択とさせていただきます。」

#### 5 教育委員会委員長に対して、陳情不採択回答についての説明要請を提出、区民に報告チラシを配布

私たちは、前項の不採択回答では、陳情書に署名された10,120人のみなさまへ充分なご報告ができないと

考え、教育委員会に対して、不採択理由の具体的な説明を、15項目にわたって要請しました。

これらはいずれも、教育委員会の議事録を精査し、審議されてない事項であることを確認して、作成したもので、本来、陳情の採否を決定する前に、審議し明らかにしていただきたかったことです。

文教児童青少年委員の皆様には、お忙しい中、お会いいただき、ご説明させていただきました。

区民・図書館利用者には、「報告チラシ」を図書館前で、4,300部配布しました。

6 「区立図書館の業務委託等について」十分な審議をお願い致します。

7月11日区議会文教児童青少年委員会に「区立図書館の業務委託等について」(資料1)が提出されました。

これまで、陳情についての委員会審議は、他区の委託実施状況をもとに、「計画は検討中であるが」との注釈つきで、いわば「基本的な考え方」の域を出ないものでした。

具体的な委託計画が提示されたこの段階で改めて十分な審議をお願い致します。

提出された委託計画「区立図書館の業務委託等について」について、よりよい図書館のために、なにが問題であり、どうすればよいかを、具体的事実に基づいて、別紙に整理しました。

委員会審議のご参考にしていただければ幸いです。

7 「私たちはこういう図書館を望む」をご覧ください。

この文書は、私たち「よりよい練馬区の図書館をつくる会」が目指す、「練馬区の図書館を充実、発展させる」とは、具体的にどういうことなのかを明らかにし、

「健康と活力あふれる文化のまち ふるさとねりま」にふさわしい図書館を行政・図書館職員と区民・利用者・ボランティアが相たずさえて、一步一步作り上げていこうとするものです。

内容は、利用者からのアンケート回答をはじめ、図書館職員のご意見も反映しています。今後も常に、広くみなさんのご意見をお伺いし、活動を展開する中で、更によりよいものにして参ります。

私たちが、一時的な問題解決、一部の立場のみの論理や利益、民営化絶対反対論などに見られる、偏狭で硬直的な考え方に立っていないことを、ご理解いただければ、幸いです。

8 光が丘図書館視察のお願い

練馬区の図書館は、建設から運営に至るまで、行政・図書館職員と利用者・区民の連携により、発展をしてきました。

区民1人当たり資料費は、23区中19位(人口50万人以上7区中5位\*)と低いレベルにもかかわらず、区民の図書館利用は、旺盛で高水準です。人口1人当たり貸出数は23区中9位(人口50万人以上7区中1位)、蔵書回転数(貸出数÷蔵書数)は、23区中1位\*\*です。

(\*資料費は H16 年度当初予算、H16/10/6 文児委員会提出資料、\*\*貸出数蔵書数等は「日本の図書館 統計と名簿 2004 年版」)

現在も、時代の変化に則した新しい需要に応えるべく、多くの事業が予定されております。

図書館には、目に見える本の貸出し返却の他に様々なサービスがあります。議員活動のための資料提供も例外ではありません。

是非、ご視察をいただくよう、お願い致します。

2005年8月18日  
よりよい練馬区の図書館をつくる会  
事務局長 関 日奈子  
〒176-0024 練馬区中村 3-10-6  
Tel&Fax 03-3990-6327  
<http://betterlib.exblog.jp/>  
E-mail: [yoriyoitosyokan@hotmail.com](mailto:yoriyoitosyokan@hotmail.com)